

エイトにより線維筋痛症の痛みの改善とともにCRP値が低値となった症例



園ペインクリニック
院長 松本 園子 先生



【症例患者について】

身長 162cm

体重 71kg

福岡県在住

2008年頃より線維筋痛症と診断されている ステージ4

【既往歴】

糖尿病、慢性疲労症候群、アルコール中毒症、L45腰椎椎間板ヘルニア

【経過】

腰や肘などの関節の痛みは近い整形外科にてブロック注射をしていた
内服薬は医療用麻薬を含めて約20種類

【エイトを使い始めてからの経過】

- 2023.4 当院初受診
当院のオンライン診療にてエイトの使用を勧める
4月末 エイト使用開始
- 2023.7 エイトを使用して、効果のわかる日もあるとのこと
エイトをお腹へ当ててみるよう勧める
- 2023.8 患者より福岡県内のかかりつけ医を受診した際にCRPが減少していたとの連絡あり
痛みは安定しているとのこと
- 2023.9 伸びをして痛みがひどくなったとのこと
CMCPが流行っているので処方してほしいとの要望があり、処方を開始
9月末 エイト使用中止
- 2023.10 以下患者より聞き取り
お腹への当て方をやってみると調子がよかった
メンタル不調の為、エイトの使用が難しく、使用をやめた
使用をやめた直後に痛みが出た
ノイロトロピンの点滴を毎日続けて、ようやく歩けるようになった

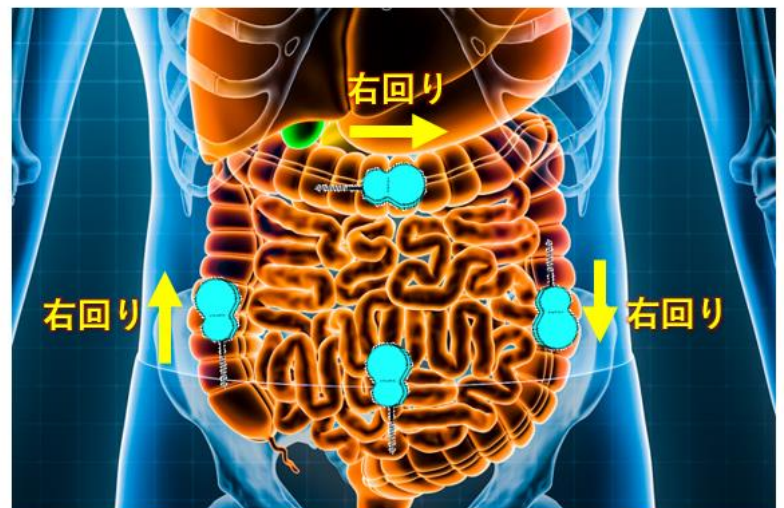
エイトを使い始めて3ヶ月目の診療時に、患者ご本人からCRP値が下がっているとの連絡があり、これまでの経緯のデータをいただいた。

エイトを始めてからCRP値は減少傾向であり、痛みの改善もみられた。

約5か月間のご使用であったが、15年にわたる慢性痛を短期間でVAS 0にすることは難しく、患者ご本人の精神的なモチベーションが持てなかったようである。

【お腹への当て方について】

エイトの作用機序の1つとして、セロトニンやノルアドレナリンを介した下行性疼痛抑制系の賦活化が明らかとなっており、体内のセロトニン前駆体の約90%は腸に存在することから、右図に示すお腹への当て方を勧めた。

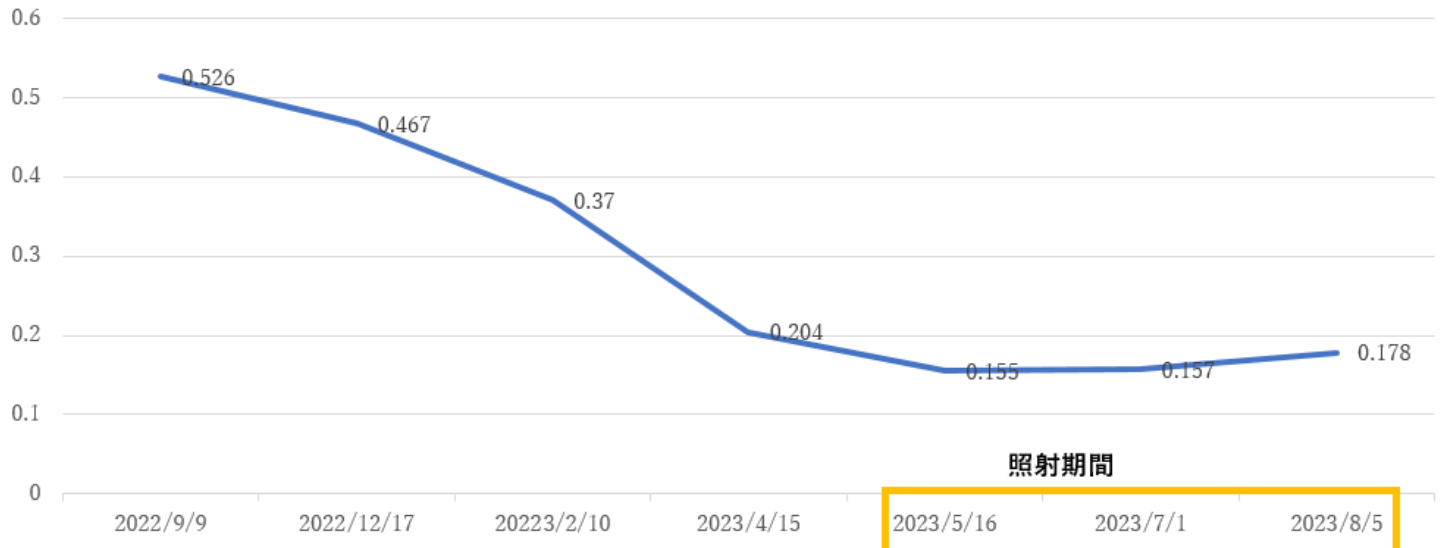


【エイトの照射期間中の血液検査結果の推移と薬剤内服量】

血液検査結果および薬剤内服量を以下のグラフと表で示した。

エイトの使用期間中、CRP値の減少がみられた。また一時的に薬剤を減量することができた。

CRP値推移



エイト使用中と使用終了後の薬剤の種類・量の変化は次のとおりである。
エイト使用中は薬剤を一時的に減量している。

薬	分量	7/10（エイト使用中）	10/11（エイト使用終了）
プレガバリン口腔内崩壊錠	75mg	4T	3T
ロキソプロフェンNa錠	60mg	1T	1T
酸化マグネシウム錠	500mg	2T	2T
デュロキセチンカプセル	30mg	1C	1C
アセトアミノフェン錠	500mg	6T	6T
ジクロフェナクNa坐剤	25mg	10個	10個
フェルビナク外用液3%	(50ml/1本)	1本	1本
三和芍薬甘草附子湯エキス細粒	(1.5g/1本)	3包	2包
ツムラ治打撲一方エキス顆粒	(2.5g/1包)	3包	3包
ロキソプロフェンNaテープ100mg	(7枚/1袋)	8袋	9袋
ジクトルテープ75mg	(7枚/1袋)	1袋	
ロバキシン顆粒90%	0.25g		
バランス散10%	0.05g		
カフェイン水和物原末「マルイシ」	0.03g		
乳糖水和物「ケンエー」	0.07g		
ツムラ補中益気湯エキス顆粒	(2.5g/1包)		3包
エスゾピクロン錠	1mg		3T
ヒルナミン錠	5mg		5T
プロチゾラム口腔内崩壊錠	0.25mg		2T
ジアゼパム錠	2mg		3T

【紹介方法について】

今回は、福岡県在住ということで、線維筋痛症ネットワークの情報から、エイトを貸し出しているクリニックを探し当てたとのこと。診察後、エイトのパンフレットを即時送り、数日後から開始した。

【ご本人の運用について】

患者ご本人から聞き取りした情報によると、毎日数時間エイトの治療を実施した。以前は寝たきりが多かったが、エイトを始めてから少しずつ活動的になったとのこと。治療開始直後は痛みに変化は見られず、それでもひたすら続けていた。エイトを使用することで痛みが増すこともあった。基本的には上半身の痛みが強く、エイトの効果もわずかしき感じられなかった。

エイトを使い始めて3ヶ月後に、患者ご本人はかかりつけの内科医からCRP値の減少を指摘されて、驚き直ぐに当院まで報告してくださった。

わたしも初めての経験であり、その後も経過を追っていただいた。

CRP値の減少とともに痛みの改善が若干みられ、患者本人のエイトの効果に対する意識が変化し、約5か月は続けるモチベーションに繋がったようであった。

継続期間が半年に満たなかったことは残念であるが、この症例を通じてエイトの新たな効果の可能性を見ることができた。

薬事情報

販売名：エイト

承認番号：30400BZX00015000

一般的名称：交番磁界治療器

医療機器クラス分類：クラスII

(管理医療機器 特定保守管理医療機器)



株式会社P・マインド

〒861-5525

熊本県熊本市北区徳王2-8-6

TEL 050-3160-8350

MAIL contact@p-mind.co.jp